

は、修正・検討が必要なもの。

基本目標	数値目標 具体的 施策	指標 番号	指標名	KPI(重要業績評価指標)					具体的な取組み		
				戦略策定時点 2015(H27)年10月	2015(H27)年度末 実績	2016(H28)年度末 目安ライン※	2016(H28)年度末 実績	2017(H29)年度末 目安ライン※		2018(H30)年度末 目安ライン※	2019(H31)年度末 目標
(1)新たな産業集積による雇用創出											
	【数値目標】		社会動態	▲115人 (2014年)	554人	470人以上	▲320人	470人以上	470人以上	470人以上	—
ア 産業振興を通じた雇用の受け皿づくり											
①優良企業の立地促進と航空機分野をはじめとする中小企業支援											
	1		新規立地に伴う新規雇用者数	252人/年 (直近5年平均)	354人	累計660人 (306人)	累計745人 (391人)	累計965人 (305人)	累計1,270人 (305人)	5年間で1,575人増	1 優良企業の誘致 2 航空機産業の育成 3 中小企業支援
	2		航空機関連産業の雇用者数	44人 (2015年4月現在)	61人	114人	89人	158人	201人	244人	
	3		市景況調査の雇用BSI値 (増加-減少)	マイナス(▲1.6ポイント) (2014年)	プラス (+0.8ポイント)	プラス	マイナス (▲1.0ポイント)	プラス	プラス	毎年プラスを維持	
②新たな農業の可能性を切り拓く、農業や食産業の成長産業化の促進											
	4		新規就農者数	62人 (2014年)	62人	70人	67人	70人	70人	毎年70人	4 意欲ある多様な担い手の確保・育成 5 競争力のある食と花の確立 6 力強い農業生産基盤等の整備・保全 7 ニューフードバレーの推進 8 12次産業化(農業と他分野の連携)の推進
	5		食品製造業従業者数の減少予測を圧縮	11,787人 (2013年実績)	11,787人 (2013年実績)	11,704人 (2014年実績)	11,418人 (2014年実績)	11,618人 (2015年実績)	11,533人 (2016年実績)	11,449人 (2017年実績)	
	6		農業と他分野の連携プロジェクト数	47事業 (2015年度)	47事業	61事業	60事業	67事業	73事業	80事業	
③創業・起業の支援											
	7		創業支援事業計画に基づく延べ創業支援件数	2015年度当初計画による 目標数 1,085件	1,375件	1,400件	1,775件	変更案 1,800件 現行 1,400件	変更案 1,800件 現行 1,400件	変更案 年1,800件 現行 年1,400件	9 相談体制の強化 10 経営基盤の強化 11 交流の場の提供
イ UIJターン促進の環境づくり											
①新潟暮らしの魅力発信											
	8		全国移住ナビ アクセスランキング	政令市1位 (2015年9月現在)	政令市1位	政令市1位	政令市1位	政令市1位	政令市1位	政令市1位	12 ニーズの把握と相談体制の整備 13 多様な情報の発信
	9		UIJターン関連ホームページ・SNSアクセス数	7,000件 (2015年度見込)	11,363件	12,273件	25,589件	変更案 27,059件 現行 13,182件	変更案 28,529件 現行 14,091件	変更案 30,000件 現行 15,000件	
②女性や若者の就労支援											
	10		女性労働者の構成率	30.7% (直近5年平均)	31.7%	31.8%	33.2%	変更案 32.0% 現行 31.9%	32.0%	32.0%	14 女性の再就職支援 15 若年者の就労支援
	11		地元大学卒業者の県内就職割合	57.7% (2014年度)	58.7%	61.0%	集計中 (6月下旬頃確定)	63.3%	65.5%	67.7%	
③移住・定住に向けた支援											
	12		職業を理由とした県外からの転入者数	5,300人 (2014年)	5,697人	5,700人	5,553人	5,700人	5,700人	5,700人	16 農業とのマッチング 17 企業とのマッチング 18 商業(商店街)とのマッチング 19 住みリフォーム・空き家活用への支援

※「目安ライン」は、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定するものである。

■新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗状況一覧表

■ は、修正・検討が必要なもの。

基本 目標	数値目標 具体的 施策	指標 番号	指標名	KPI(重要業績評価指標)						具体的な取組み	
				戦略策定時点 2015(H27)年10月	2015(H27)年度末 実績	2016(H28)年度末 目安ライン※	2016(H28)年度末 実績	2017(H29)年度末 目安ライン※	2018(H30)年度末 目安ライン※		2019(H31)年度末 目標
(2)創造交流都市としての拠点性を活かした交流人口の拡大											
	【数値目標】		観光入込客数	1,845万5千人 (2014年)	2,005万7千人	2,065万9千人	1,855万人 (速報値)	2,096万9千人	2,159万8千人	2,220万人	—
			延べ宿泊者数	214万6千人 (2014年)	212万9千人	220万2千人	213万7千人 (速報値)	221万1千人	223万3千人	225万5千人	
ア 多様な来訪者の獲得											
①本市の文化や地域に根ざした魅力を国内外に発信											
		13	新潟市公式観光情報サイトのアクセス数	188万5千件 (2014年度)	178万7千件	219万1千件	159万8千件	259万4千件	299万7千件	340万件	20 食文化創造都市の推進 21 独自文化の魅力発信
②国内外の来訪者に向けた受入態勢の整備と本市ならではのプログラム提供											
		14	年間5,000人以上の集客がある、市施設のWi-Fi整備及びサインの多言語化率	Wi-Fi:3.8%(2014年度)	76.9%	80.8%	76.9%	87.2%	93.6%	ともに100%	22 通信やサインなどの環境整備と人材育成の推進 23 「文化プログラム」の構築 24 広域連携誘客事業の推進
		15		サイン:30.8%(2014年度)	46.2%	50.0%	61.5%	66.7%	83.4%		
		16	延べ外国人宿泊者数	4万2千人 (2014年)	5万9千人	6万3千人	5万5千人	6万8千人	7万3千人	7万8千人	
③優れた拠点性と独自の魅力を活かした国内外の交流推進											
		17	コンベンション等開催件数	直近5年平均 212件/年	222件	224件	243件	227件	230件	233件	25 拠点性を活かした誘致活動の推進 26 文化芸術が有する創造性を活かした取組みの推進
	追加案		コンベンション主催者アンケートにおける満足度(本市でのコンベンション開催について「満足」と回答する割合)	未実施	未実施	—	未実施	70%	75%	80%	
		18	ナショナルチーム合宿実施数	0件 (2014年)	2件	累計5件 (3件)	累計4件 (2件)	累計8件 (3件)	累計11件 (3件)	累計15件以上	

※「目安ライン」は、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定するものである。

■新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗状況一覧表

は、修正・検討が必要なもの。

基本 目標	数値目標 具体的 施策	指標 番号	指標名	KPI(重要業績評価指標)					具体的な取組み		
				戦略策定時点 2015(H27)年10月	2015(H27)年度末 実績	2016(H28)年度末 目安ライン※	2016(H28)年度末 実績	2017(H29)年度末 目安ライン※		2018(H30)年度末 目安ライン※	2019(H31)年度末 目標
(3)ライフステージに応じた一貫した支援による少子化の克服											
	【数値目標】		住んでいる地域の子育て環境や支援の満足度 (5段階評価)	2.9 (2013年度)	2.7	3.2	2.8	3.3	3.4	3.5	—
			夫婦が理想とする子どもの人数(2.55)と実際にも つつもりの子どもの人数(2.23)の差	人数の差 0.32 (2014年度)	0.44	0.32未満	0.36	0.32未満	0.32未満	0.32未満	
ア 結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、切れ目のない支援を実施											
①結婚を希望する男女の出会いの創出											
	19		出会いの場関連事業への参加者数	18,366人 (2014年度)	17,476人	22,357人	19,858人	27,238人	32,119人	37,000人	27 出会いの場づくりなどの各種支援 28 結婚の魅力を発信
②安心して妊娠・出産ができる支援体制の強化											
	20		子育て世代包括支援センター設置数	0箇所 (2014年度)	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所 (各区1箇所以上)	29 不妊に悩む方への支援 30 妊娠・出産・産後の切れ目のない支援(新潟市版ネウボラ等)
	21		妊娠11週以下での妊娠の届出率	93.6% (2014年度)	94.4%	94.6%	94.9%	94.8%	95.0%以上	95.0%以上	
	22		家庭訪問等による育児状況確認率	100% (2013年度)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
③子育て支援のより一層の充実											
	23		保育所待機児童数	0人 (2015年4月1日現在)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	31 多様な保育サービスの充実 32 児童の放課後対策の総合的な推進 33 地域特性を活かした子育て支援の充実
	24		「新潟市は子育てしやすいまち」と思う保護者の割合	43.4% (2014年度)	45.8%	49.5%	40.1%	53%	56.5%	60.0%	
	25		放課後児童健全育成事業を利用する児童数	7,375人 (2014年度)	8,298人	8,773人	9,090人	9,463人	10,208人	10,831人	
	26		地域団体が運営に参画した放課後児童クラブ数	3クラブ (2014年度)	4クラブ	11クラブ	7クラブ	14クラブ	17クラブ	20クラブ	
④結婚・出産・子育てなどライフデザインを考える機会の提供											
	27		妊娠・出産の正しい知識を習得した生徒の割合	—	86.0%	86.0%以上	86.0%	86.0%以上	86.0%以上	86.0%以上	34 妊娠・出産の正しい知識を啓発

※「目安ライン」は、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定するものである。

■新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗状況一覧表

■ は、修正・検討が必要なもの。

基本目標	数値目標 具体的 施策	指標 番号	指標名	KPI(重要業績評価指標)					具体的な取組み		
				戦略策定時点 2015(H27)年10月	2015(H27)年度末 実績	2016(H28)年度末 目安ライン※	2016(H28)年度末 実績	2017(H29)年度末 目安ライン※		2018(H30)年度末 目安ライン※	2019(H31)年度末 目標
イ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進											
①若い世代の結婚や出産の希望をかなえる雇用労働環境の向上											
②子育てや地域活動等への参画を容易にする働き方の推進											
	28		年次有給休暇取得率	37.4% (2014年度)	40.5%	45.0%	38.1%	50.0%	60.0%	70.0%	35 経済界へワーク・ライフ・バランス推進を要請 36 企業のワーク・ライフ・バランス推進を支援
	29		所定外労働時間数	9.1時間/月 (2014年度)	11.4時間/月	10.6時間/月	10.6時間/月	9.8時間/月	9.0時間/月	8.1時間/月	
③女性が望む多様な働き方の支援											
	30		育児に関する支援制度を有する事業所の割合	69.2% (2014年度)	73.0%	73.5%	74.2%	74.0%	74.5%	75.0%	37 女性の活躍促進を啓発 38 女性の再就職支援 39 女性の多様な生き方・働き方を紹介・支援
④男性の家事・育児を促進											
	31		男性の育児休業取得率	2.1% (2014年度)	5.4%	7.3%	2.9%	9.2%	11.1%	13.0%	40 男性の育児休業取得を啓発 41 男性の育児休業取得を支援
	32		家事・育児・介護などへの従事時間の男女差(共稼ぎ世帯・平日)	220分※1 (2014年)	(242分)※2	226分	(275分)※2	210分	195分	180分以内※1	
ウ 新潟らしい教育の推進											
①新潟の良さを伝え、新潟への愛着を育む教育の推進											
	33		新潟の良さを伝え、愛着を育む活動をした学校の割合	100% (2014年度)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	42 新潟を知る・体験する教育の推進 43 食育・農業体験の推進 44 中学・高校生へ新潟暮らしの良さをアピール
	34		「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している学校の割合	100% (2014年度)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
②新潟で子どもを育てたいと思える教育環境の整備											
	35		「新潟市は子育てしやすいまち」と思う保護者の割合	43.4% (2014年)	45.8%	49.4%	40.1%	53.0%	56.5%	60.0%	45 学・社・民の融合による教育の推進 46 新潟らしい教育行政体制の創造 47 豊かな心と健やかな身体の育成 48 教育の機会均等に向けた支援体制整備 49 家庭教育の充実と子育て支援
	36		1校あたりの学校支援ボランティア延べ人数	1,210人 (2014年度)	1,531人	1,549人	1,611人	変更案 1,640人 現行 1,566人	変更案 1,670人 現行 1,583人	変更案 1,700人 現行 1,600人	
エ 地元の大学等への進学、地元企業への就職の促進											
①大学の魅力向上への取組みを支援											
	37		地元大学への進学者の割合	33.6% (2014年度)	33.9%	36.4%	集計中 (6月下旬頃確定)	38.8%	41.2%	43.6%	50 新規大学、新規学部設置等への積極的支援 51 魅力的な教育プログラム(COC+等)推進への支援 52 特色ある研究や大学広報への支援
②地元大学等への進学しやすい環境整備											
	38		地元大学への進学者の割合	33.6% (2014年度)	33.9%	36.4%	集計中 (6月下旬頃確定)	38.8%	41.2%	43.6%	53 地元進学者に対する奨学金貸付の充実 54 地元大学等への進学時の支援
③地元企業への就職の促進											
	39		地元大学卒業者の県内就職割合	57.7% (2014年度)	58.7%	61.0%	集計中 (6月下旬頃確定)	63.3%	65.5%	67.7%	55 新規学卒者に対する本市圏域内への就労支援 56 首都圏等新規学卒者に対するUIJターン支援

※「目安ライン」は、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定するものである。

※1男女共同参画に関する基礎調査の数値(市内満15歳以上の男女を対象)。2019(H31)年度に実施予定。

※2子育て市民アンケートの数値(市内0～17歳までの子を持つ保護者を対象)。

■新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗状況一覧表

は、修正・検討が必要なもの。

基本目標	数値目標 具体的 施策	指標 番号	指標名	KPI(重要業績評価指標)					具体的な取組み		
				戦略策定時点 2015(H27)年10月	2015(H27)年度末 実績	2016(H28)年度末 目安ライン※	2016(H28)年度末 実績	2017(H29)年度末 目安ライン※		2018(H30)年度末 目安ライン※	2019(H31)年度末 目標
(4)地域力・市民力を活かした誰もが安心して暮らせるまち											
	【数値目標】「住みやすいまち」と思う人の割合			31.5% (2015年度)	31.5%	—	未実施 ※H31年度末に 実施予定	—	—	50.0%	—
ア 地域資源を活用し、多様な生活環境を選択できる暮らし											
①多様なライフスタイルに対応した暮らしの提案											
	40		移住モデル地区指定数	0地区 (2014年度)	方針検討 (地区指定なし)	累計1地区	1地区	累計2地区	累計2地区	累計3地区	57 移住モデル地区への支援 58 空き家活用、空き家リフォーム助成 59 アクティブシニアの移住支援(新潟市版CCRC等)
	41		空き家活用件数	77件 (2014年度)	58件	累計159件 (101件)	累計120件 (62件)	累計260件 (101件)	累計360件 (100件)	5年間450件	
②市民生活での安心・安全の確保											
	42		コミュニティ協議会の認知度	57.9% (2013年度)	—	68.0%	59.7%	72.0%	76.0%	80%以上	60 自主防災組織の活動支援 61 地域コミュニティ活動の活性化 62 地域と共に歩む学校づくりの推進 63 放課後児童クラブと地域との連携 64 障がい者への求職相談から就職後の定着までの一貫した支援 65 多世代交流の推進
	43		1校あたりの学校支援ボランティア延べ人数	1,210人 (2014年度)	1,531人	1,549人	1,611人	変更案 1,640人 現行 1,566人	変更案 1,670人 現行 1,583人	変更案 1,700人 現行 1,600人	
	44		地域の茶の間設置数	437箇所 (2014年度)	445箇所	461箇所	446箇所(暫定値) (6月頃確定)	486箇所	511箇所	537箇所	
イ 新バスシステムによる、マイカーだけに頼らない持続可能な公共交通のある暮らし											
①快適に移動できるまちづくり											
	45		移動手段におけるバスの利用率	2.8% (2011年度)	—	2.8%	3.1%	—	—	3.0%	66 新たな交通システム(BRT)の推進 67 区バス、住民バスの強化 68 高齢者運転免許返納サポート
	追加案		区バス・住民バスの年間利用者数	466千人 (2015年度)	466千人	—	483千人	491千人	503千人	515千人	
	46		高齢者加害交通事故件数	451件 (2014年)	459件	417件	404件	401件	385件	370件	
②持続可能な都市づくり											
	47		バリアフリー対応駅数	12駅 (2014年)	12駅	13駅	13駅	13駅	13駅	14駅	69 再開発事業等の推進 70 公共交通の利用促進 71 自転車の利用促進 72 鉄道駅のバリアフリー化
③健幸都市づくり(スマートウェルネスシティ)の推進											
	48		1日60分くらい体を動かす生活を実践している者の割合	男性27.0% 女性22.4% (2014年度)	男性 26.4% 女性 21.4%	35.0% 33.0%	男性 25.6% 女性 21.1%	37.5% 36.5%	40.0% 40.0%	男女共40%以上	73 健幸マイレージ、にいがた未来ポイントによる健康活動への参加促進 74 りゅーとカードの多面的活用
	49										
ウ みなとまちの歴史や文化など、魅力的なまちなかを感じられる暮らし											
①地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり											
	50		コンベンション等開催件数	直近5年平均 212件/年	222件	224件	243件	227件	230件	233件	75 地域の歴史・文化を活かした景観のルールづくり 76 花街文化を活かしたまちなみ整備 77 まち歩き情報案内板の設置
	追加案		コンベンション主催者アンケートにおける満足度(本市でのコンベンション開催について「満足」と回答する割合)	未実施	未実施	—	未実施	70%	75%	80%	
②まちなか再生の推進											
	51		都心軸主要ポイント合計の歩行者交通量	48,100人/日 (2014年)	41,914人/日	47,400人/日	37,554人/日	47,300人/日	47,200人/日	53,700人/日	78 新潟駅周辺地区の整備 79 都心軸・萬代橋周辺エリアの賑わいづくり

※「目安ライン」は、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定するものである。